

# 竹取物語新聞

第 130 号 2017 年 1 月号  
発行：NPO 法人森林ボランティア  
竹 取 物 語 の 会

## 新春恒例の三之宮神社参拝 1 月 8 日 (日)

年始恒例の三之宮神社へ「安全祈願」の参拝を行った。当日は小雨の中 30 名の会員が集合、お互いに新年の賀詞交換を行った。神社からお祓いを受け、出席者一同「里山保全活

動に当たっては安全重視で行う」事を誓い解散した。恒例の活動基地での善哉提供や朱智神社への新春ハイキングは小雨のため取りやめになった。(岡 春司)

## 穂谷の里山に昼が来た！善哉の提供 1 月 11 日

小雨で取りやめとなっていた、善哉の提供を行った。野外活動センターの展望台デッキ補修作業を行う間に、矢吹名料理長の下で善哉を炊く人お餅を焼く人等、協力をして頂いたス

タッフの皆様の御蔭で、活動で疲れた体に温かい善哉を全員で美味しく頂きました。ご協力を頂いたスタッフの皆様有難うございました。ごちそうさまでした。(岡春司)

## 阪大野球部員、穂谷で竹藪整備作業をおこなう 1 月 13 日 (金)

里山講座「穂谷の歴史」の浅野先生が監督する阪大野球部の学生 25 名が先生とともに穂谷の西雲寺奥の竹藪に集結し、長年の放置で竹が侵蝕密集し荒れ放題になった畑の整備を行なった。まず散乱する竹枝を取除いて伐採竹の集積所を作ってから作業だったが、3K 作業にも関わらず若さ全開でワアワアとにぎやかなこと。ペアで午前中 20 本伐ったと豪語する猛者も。午後は藪内部に入りさらに汚れ作業の枯

竹搬出だったが、騒ぎながらも最後までよく働いてくれ、ストレスも発散させていた。元気過ぎてヒヤリハットが連続し、試合への影響を心配したが、全員ケガなく終了した。今回は、学生の環境保全体験と地域貢献との一石二鳥の催しで発案者の浅野先生に感謝したい。続いて参加して欲しいし、次はヒノキの伐倒を経験させてあげたい。(西本 敏明)

## 桜丘小学校土曜授業 ノコ挽き体験 1 月 20 日 (土)

昨年 10/29 に実施した土曜授業の PART-2 であり、間伐したヒノキや竹のノコ挽き体験とともに、自然環境保全の意義、および里山での森林ボランティア活動内容を学ぶ前回と同じ

く竹取の持ち時間は 30 分で 1・2・5 年生 79 名が対象です。校長、教頭以下教諭 11 名が参加し竹取会員 7 名で対応した。(小出 哲男)